

公益財団法人 日本サッカー協会  
2017年度 第2回理事会

## 協議事項

1	<p>2017 ナショナルコーチングスタッフ体制〔サッカー男子担当〕の件</p> <p><b>(協議) 資料No.1①②</b></p> <p>2017年のナショナルコーチングスタッフ〔サッカー男子担当〕体制を別紙の通りとしたい。 ※<u>太字・下線</u>以外は前月理事会にて承認済み</p>
2	<p>技術委員会 委員交代の件</p> <p><b>(協議) 資料No.2</b></p> <p>技術委員会の委員を以下の通り交代したい。 現) 影山 雅永 (かげやま まさなが) 新) 鈴木 淳 (すずき じゅん)</p> <p>※影山委員は、2017年1月の理事会にてU-18日本代表の監督に就任したため。</p>
3	<p>第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会 決勝戦会場の件</p> <p>第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会の決勝戦を埼玉スタジアム2002にて開催したい(1月31日 天皇杯実施委員会により決議)。</p> <p>&lt;決勝戦 2018年1月1日(月・祝)&gt; 埼玉スタジアム2002 (埼玉県、観客席63,700)</p> <p>(参考)</p> <p>96回大会 市立吹田サッカースタジアム(大阪府、観客席40,000) 95回大会 味の素スタジアム(東京都、観客席50,000) 94回大会 日産スタジアム(神奈川県、観客席72,327) 93回大会 国立霞ヶ丘競技場(東京都、観客席52,327)</p>
4	<p>天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催規程変更の件</p> <p><b>(協議) 資料No.3</b></p> <p>以下の通り、開催内容を変更に伴い、開催規程を別紙の通りに改正することとしたい。</p> <p>1. Jリーグクラブの外国籍選手の取り扱い Jリーグの外国籍選手の取り扱い変更に伴い、J1、J2、J3を対象に変更したい。 〔96回大会〕 参加申込〔5名〕、出場〔3名+アジア枠1名〕 ↓ 〔97回大会〕 参加申込〔5名〕、出場〔3名+アジア枠1名〕 Jリーグ提携国の選手は、外国籍選手とみなさない</p>

※その他の参加チームは外国籍選手 5 名まで参加申込でき、1 試合 3 名まで出場できる（変更なし）。

## 2. 警告による出場停止処分

準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告累積は、準決勝以降に持ち越さない。

## 3. チーム旅費・宿泊費・強化費等

〔単位 千円〕

### 1) チーム強化費の変更 (消費税別)

カテゴリー		96 回大会	97 回大会
強化費 (賞金)	優勝	100,000	<b>150,000</b>
	準優勝	50,000	50,000
	第 3 位	20,000	20,000
	第 5 位	10,000	0
強化費 (勝利チーム)	準決勝	1,000	<b>3,000</b>
	準々決勝	1,000	<b>3,000</b>
	ラウンド 16	1,000	<b>3,000</b>
	3 回戦	1,000	<b>2,000</b>
	2 回戦	500	<b>1,000</b>
	1 回戦	500	500
FXSC 出場料 (消費税込)		1,000	<b>0</b>

### 2) 出場料の変更 (初回出場のみ) (消費税別)

J1 クラブ	2,000	<b>0</b>
J2 クラブ	1,000	<b>0</b>
(予算額)	58,000	0

### 3) 大会参加諸経費の変更 (1 試合毎) (消費税込)

J1 クラブ	500	<b>0</b>
J2 クラブ	250	<b>0</b>

### 4) 旅費・宿泊費の変更 (消費税込)

2 回戦以降	宿泊費	10,000 円/人	<b>15,000 円/人</b>
	旅費	1 区間 100Km 以上は 特急料金	1 区間 100Km 以上は 特急料金・新幹線 <b>(グリーン車)</b>

予算変動額	381,037	381,037
-------	---------	---------

## 5 全日本少年サッカー大会 審判員の件

本大会が 8 人制サッカーを導入すると同時に、1 人の主審によって試合が運営される、いわゆる「1 人制審判」を全試合で導入することを 2010 年 12 月開催の理事会及び 2011 年 1 月の理事会にて審議した。その結果、1 次ラウンドを「1 人制審判」とし 2 次ラウンドを「3 人制審判」で行うことが承認され、第 35 回 (2011 年) 大会から実施してきた。

実施から 5 年が経過。2017 年 2 月 6 日に開催した第 4 種大会部会において再度審議を行い、以下の理由により、第 41 回大会 (2017 年大会) から全試合を対象に「1 人制審判」を導入することとしたい。

## 〔理 由〕

1人制審判について出場チームをはじめとする大会関係者の理解が進んだこと  
 8人制サッカーが根付くと共に1人制審判を導入する都道府県が増えてきていること  
 試合を担当するユース年代の審判員のレベルが年々レベルアップしていること  
 上記により、以下のように1人制審判に変更することとした。

## 《2011年1月 理事会承認事項》

1次ラウンドについては1人の主審と補助審判が指名される。2次ラウンド、下位ラウンド、決勝トーナメント、下位決勝トーナメントについては1人の主審と2人の副審と第4の審判員が指名される。（第39回大会から大会形式を1次、2次ラウンドに変更）

## 6 アドバイザリーボード メンバー追加の件

アドバイザリーボードのメンバーに、以下の1名を追加したい。

平野 英治（ひらの えいじ）／メットライフ生命保険株式会社 取締役代表執行役副会長

## 7 日本サッカー後援会 会員表彰の件

(1) 日本サッカー後援会会員として30年在籍した方に対し、長年に亘る援助に対する感謝として、以下の通り表彰したい。なお、本表彰制度は2008年より実施している。  
 後援会からは1977年の発足以来、日本代表強化等の為に毎年交付金を頂いており、その累計は約15億円に上る。

## ① 対象者：20名

※ 参考：2016年16名、2015年13名、2014年23名、2013年12名、2012年12名、  
 2011年17名、2010年22名、2009年48名、2008年101名、

## ② 表彰内容：2017年中に日本代表戦1試合ご招待及び記念楯の贈呈

## 【参考】日本サッカー後援会からの交付金収入（過去10年）

2006年度 64,000千円（JFA 52,000千円、なでしこリーグ7,000千円、フットサル5,000千円）

2007年度 59,000千円（JFA 44,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
 なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円）

2008年度 46,000千円（JFA 31,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）  
 なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円）

2009年度 47,000千円（JFA 32,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
 なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円）

2010年度 46,000千円（JFA 31,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
 なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円）

2011年度 48,000千円（JFA 33,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円、  
 なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円）

2012年度 50,000千円（JFA 35,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
なでしこリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円）

2013年度 55,000千円（JFA 35,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
なでしこリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円、JFL5,000千円）

2014年度 55,000千円（JFA 35,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
なでしこリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円、JFL5,000千円）

2015年度 55,000千円（JFA 35,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円）、  
なでしこリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円、JFL5,000千円）

2016年度 55,000千円（JFA 35,000千円（内、こころのプロジェクト1,000千円  
指導者養成海外研修留学費用10,000千円）、なでしこリーグ 5,000千円、  
フットサル10,000千円、JFL5,000千円）